

五輪サクラ 延期でも美しく

札幌 雪で開花遅らせ展示



札幌駅地下街アピアに展示された雪の冷気で開花を遅らせたサクラを使ったオブジェ

来年8月に東京五輪マラソン・競歩が開かれる札幌市で8日、雪の冷気で開花を遅らせたサクラを使ったオブジェの展示が札幌駅地下街などで始まった。当初の開幕日だった今夏に向けて準備していたが、五輪延期で行き場を失ったサクラを市民や観光客に披露しようとして企画した。

札幌市主催。道内の経済関係者らでつくる「北海道雪水桜プロジェクト実行委員会」が東京五輪のマラソン・競歩会場の沿道で観客

に配ろうと全道34市町村から剪定された枝を集め、3月から空知管内沼田町の雪蔵で保存していた。

オブジェは10日まで札幌駅地下街アピア、さっぽろテレビ塔のほか新千歳空港国内線ターミナルビルでも展示している。アピアでは約300本が飾られ、つぼみがほころび始めた枝も。季節外れのサクラに札幌市北区の榎戸良治さん(67)は「とても美しい。北海道ならではの取り組みで面白い」と話していた。(内藤景太)